



白鳳点描

区切りの時期を迎えて

校長 川本 幸則

自宅向かいのお宅に、紅梅と白梅の木があります。昨年この頃は、紅梅のつぼみがふくらみ、花が咲き始め、白梅は、枝先に白いつぼみが見え始めていました。今年は、2月の中旬で、紅白の梅がきれいに咲いています。暖かい冬であったことがわかります。

今年度は、学校の中心となって活動してきた6年生に感謝を伝えるとともに、学校を受け継いでいく気持ちを育むための「6年生を送る会」を全校児童が体育館に集まって実施します。コロナ禍では、ICT 機器を活用して、画面を通して行っていました。全児童が同じ場所に集まって実施することは、コロナ禍ではできなかったことです。同じ時間に、同じ場所で一緒に過ごすことは、画面を通して共有するのとは、違った良さがあると思います。

インフルエンザを含め、感染症への対応はまだまだ必要ですが、直接、関わり合いながら生活することは、子どもたちの成長には大切なことです。関わり合う生活の中で、様々な経験をして成長してほしいと願います。

令和5年度も残すところ1か月となりました。学校としても、本年度の教育活動を総括して、新年度にはステップアップできるように取り組んでいけたらと思います。保護者及び学校運営協議会の皆様には、令和5年度の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございます。集計結果につきましては、H&Sアプリを通じて、配信させていただきますのでご確認ください。

アンケート結果の全体的な傾向では、昨年からの大きな変化はみられません。多くの項目で、学校の教育活動に対して肯定的にとらえていただけている方が増えていました。

しかし、肯定的な評価が多いことが、すべて良いということではありません。

例えば、「学校に楽しく登校しているか」の問いに対して約6%が「できていない」「あまりできていない」との回答でした。

このことは、子どもたちが一日の多くの時間を過ごす学校が、安心して過ごせる居場所となりきれていないと考えます。普段は安心して生活でき、仲間と楽しく過ごせる学校で、たとえ嫌なことがあったとしても、それを乗り越えることができなければならないと思っています。

学校は、ご家庭や地域とともに子どもたちの健やかな成長を支えていかなければなりません。一つの区切りを迎えますが、真摯に反省し、次に繋げていきたいと考えています。



地域の方からいただきました

お願い：年度末に転出されることが決まりましたら、できるだけ早く学校へお知らせください。